科目名	看護管理と医療安全－医療安全	講師	専任教員
履修時期	3年　前期	単位数	1
		時間	30(内15)

＜科目設定理由＞

1年次から安全に関わる内容を積み上げ、学習してきている。これまで学習してきた知識の集大成として統合分野、3年次に学習する。医療安全は医療・看護の対象者と医療者、双方の安全を守ることである。また看護において、安全を守ることは看護の質や信頼につながる不可欠な要素である。看護師は療養上の世話と診療の補助を業務としているが、看護業務の複雑さ、同時進行、作業中断などの特性から事故が起こりやすい。この科目ではヒューマンエラーと看護における危険因子を理解した上で、危険を感知する能力を高め、具体的にどのような行動が必要か考え、行動できる力を身につける。また、専門職業人としての人間性や倫理観、日常の自己の行動・価値観などを踏まえて考察し、医療安全における自己の課題を明確化する機会となるようにする。

学習目標	1. 医療における安全管理の基本と重要性および患者をとりまく環境の危険因子について理解する。 2. 看護業務や看護技術に係る危険因子を認識でき、適切に対処できる能力を身につける。
学習内容	1. ヒューマンエラーと医療事故 2. 看護事故の構造と看護事故防止の考え方・事故防止のためのコミュニケーション 3. 看護業務に係る危険因子と事故防止対策 4. 危険度の高い薬剤の取り扱い 5. 様々なシーンにおけるリスク管理（グループワーク・演習）
授業形態	講義、グループワーク、演習
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	「医療安全ワークブック」第4版　川村治子著（医学書院）・統合分野「「医療安全」（医学書院）
参考資料・図書	適宜、講義内で提示します。
履修上の留意事項・受講条件	グループワーク・演習には積極的に参加し、相互の学びを深めることを期待します。